

事業委員会協議会資料

(令和8年9月8日)

都 市 整 備 部
まちづくり戦略室

目 次

1. 令和7年度岬町海釣り公園利用状況について（報告）・・・・・・・・ P. 1
2. 令和7年度道の駅みさき利用状況について（報告）・・・・・・・・ P. 7
3. 令和8年度第二阪和国道複線化連絡協議会の
開催について（報告）・・・・・・・・ P. 15
4. 開発協議等の進捗状況について（報告）・・・・・・・・ P. 16

1. 令和7年度岬町海釣り公園利用状況について

(1) 年間利用者数について

令和7年度は、SNSを通じた釣果情報の発信など指定管理者の積極的な集客強化の取組が、好調な釣果と相まって集客力の向上につながり、年間利用者数は前年度に比べ増加した。

年度	年間利用者数（人）	前年比	1日当たり（人）	前年比
R7	47,459	5,272人 (12.5%)	152	13人 (9.1%)
R6	42,187	4,981人 (13.4%)	139	17人 (13.9%)
R5	37,206	△5,287人 (△12.4%)	122	△16人 (△11.6%)
R4	42,493	1,719人 (4.2%)	138	6人 (4.5%)
R3	40,774	6,783人 (20.0%)	132	△5人 (△3.6%)
R2	33,991	△13,208人 (△28.0%)	137	△17人 (△11.0%)

(2) 年間売上高について

令和7年度の年間売上高は、利用者数の増加に伴い、利用料金収入及び物品販売収入ともに増加した。また、物品販売収入については、1人当たり売上高が1,000円以上となることを目標に掲げて取り組んでいるが、弁当販売の実施や民間事業者との連携による釣具の品揃えの充実を図った結果、目標額の1,000円に迫る実績額(953円)となるなど、一定の成果が表れている。

	年度	年間売上高		1人当たり売上高	
		年間売上高(円)	前年比	1人当たり売上高(円)	前年比
利用料金収入	R7	61,672,250	6,769,100円 (12.3%)	1,299	△2円 (△0.2%)
	R6	54,903,150	6,618,250円 (13.7%)	1,301	3円 (0.2%)
	R5	48,284,900	△6,483,850円 (△11.8%)	1,298	9円 (0.7%)
	R4	54,768,750	1,960,650円 (3.7%)	1,289	△6円 (△0.5%)
	R3	52,808,100	8,125,750円 (18.2%)	1,295	△20円 (△1.5%)
	R2	44,682,350	△16,208,850円 (△26.6%)	1,315	25円 (1.9%)
物品販売収入	R7	45,205,330	7,604,295円 (20.2%)	953	62円 (6.9%)
	R6	37,601,035	4,961,328円 (15.2%)	891	14円 (1.6%)
	R5	32,639,707	△5,882,777円 (△15.3%)	877	△30円 (△3.3%)
	R4	38,522,484	△1,247,696円 (△3.1%)	907	△68円 (△7.1%)
	R3	39,770,180	10,195,920円 (34.5%)	975	105円 (12.1%)
	R2	29,574,260	△12,948,090円 (△30.5%)	870	△31円 (△3.4%)

	年度	年間売上高		1人当たり売上高	
		年間売上高（円）	前年比	1人当たり売上高（円）	前年比
合 計	R7	106,877,580	14,373,395 円 (15.5%)	2,252	59 円 (2.7%)
	R6	92,504,185	11,579,578 円 (14.3%)	2,193	18 円 (0.8%)
	R5	80,924,607	△12,366,627 円 (△13.3%)	2,175	△20 円 (△0.9%)
	R4	93,291,234	712,954 円 (0.8%)	2,195	△76 円 (△3.3%)
	R3	92,578,280	18,321,670 円 (24.7%)	2,271	86 円 (3.9%)
	R2	74,256,610	△29,156,940 円 (△28.2%)	2,185	△6 円 (△0.3%)

（参考）指定管理者の決算状況について

（単位：千円）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
決算収支	△11,240	△8,259	△1,873	△6,113	6,937	11,668

※決算報告書の当期純利益の額を記載

(3) 岬町海釣り公園の管理に関する基本協定書に基づく納付金について

指定管理者は、岬町海釣り公園の管理に関する基本協定書に基づき、施設整備負担金（5,000千円）及び海釣り公園の利用料金収入の7%相当額を納付していたが、令和元年度から新型コロナウイルス感染症拡大による利用料金収入の減少に伴い、納付金の分割納付が行われ、現在、令和6年度分までの納付が完了している。

また、令和6年2月に指定管理者より「岬町海釣り公園の納付金に関する要望書」の提出を受け、双方で合意した事項に基づき、施設整備負担金は全額納付することとする一方、利用料金収入の7%相当額については、令和5年度から令和9年度までの間（指定管理期間の5年間）、全額猶予することとなった（ただし、各年度の決算収支を確認のうえ、猶予の取扱いを決定する。）。

（単位：千円）

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
「岬町海釣り公園の管理に関する基本協定書」に基づく納付金の額	施設整備負担金	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	利用料金収入7%	2,846	3,375	3,541	0	2,000	協議中

※上記合意事項を踏まえ、令和7年度の利用料金収入の7%相当額については、指定管理者の決算状況を踏まえ、協議のうえ決定する。

(4) 海釣り公園管理基金について

上記(3)の納付金については、毎年度の施設整備を行うための財源として、海釣り公園管理基金への積立てを行っている。なお、減額要望に基づく猶予措置を踏まえた令和5年度以降の基金残高についても、施設修繕額の調整を行うなどして3,000万円程度を維持している。また、納付金は令和元年度から翌年度に前年度分の納付を行うことで合意しており、現在は、令和6年度納付分までの積立てが完了している。

（単位：千円）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
年度末残高	28,987	28,647	30,484	30,108	30,552	32,736

(5) 近隣海釣り公園の利用状況について

令和7年度の近隣海釣り公園の利用状況については、1施設を除き増加した。これらの要因は各施設で異なると考えられるが、本町においては、釣果が好調であったことに加え、民間事業者との連携やSNSによる積極的な情報発信など指定管理者の創意工夫による取組が寄与したものと考えられる。

(単位：人)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
大阪南港	—	26,046	20,396	26,672	18,466	26,170	7,704人 (41.7%)
須磨	—	—	—	—	14,333	63,777	49,444人 (345.0%)
平磯	80,647	77,070	80,128	70,969	68,275	62,209	△6,066人 (△8.9%)
尼崎	43,851	49,887	54,314	49,879	45,084	45,572	488人 (1.1%)
鳴尾浜	49,715	52,451	52,360	47,287	46,302	47,805	1,503人 (3.2%)
和歌山北港	—	—	—	—	—	—	—
シモツ ピアランド	13,510	9,665	12,023	9,698	8,908	9,039	131人 (1.5%)
岬町	33,991	40,774	42,493	37,206	42,187	47,459	5,272人 (12.5%)

※1 大阪南港：台風の影響で令和元年及び令和2年は休園。令和6年2月より園内工事の影響で一部エリアが使用不可。令和7年11月一度閉鎖し、令和8年4月より営業再開

※2 須磨：台風の影響で令和元年から休園中であつたが、令和6年11月にリニューアルオープン

※3 尼崎及びシモツピアランド：台風の影響で令和元年は休園

※4 和歌山北港：台風の影響で休園中

(6) 評価と今後の取り組みについて

岬町海釣り公園の経営状況については、新型コロナウイルス感染症の拡大や釣果不振等の影響を受け、令和元年度から令和5年度にかけて5期連続の赤字となったことから、令和6年2月に指定管理者から本町に対し「岬町海釣り公園の納付金に関する要望書」が提出され、納付金の減額要望がなされた。

この要望を受け、庁内で構成する「岬町海釣り公園管理運営検討委員会」において協議を重ねた結果、施設整備負担金（年間5,000千円）は施設本体の維持管理経費の積立てを図る観点から全額納付するものとした。一方、町としても本施設の持続可能な運営を支援する必要があることから、利用料金収入の7%相当額については、指定管理期間である令和5年度から令和9年度までの間、各年度の決算収支を確認したうえで納付猶予の適否を判断することとした。

こうした状況の中、令和7年度の岬町海釣り公園においては、回遊魚のエサとなるアジやイワシ等の小魚の生息が豊富になったことに加え、ハマチやヒラメなどの釣果も好調に推移した。さらに、民間事業者と連携したイベントの開催、SNS等を活用した積極的な情報発信などの集客努力や、釣具・弁当販売の充実、企業版ふるさと納税を活用した園内施設の充実の取組などが実を結び、利用者数は47,459人（前年度比5,272人・12.5%増）となり、年間売上高も1億円を突破するなど、指定管理者の経営改善の取組により大幅な改善が図られた。

これに伴う令和7年度分の利用料金収入の7%相当額の納付の取扱いについては、現在、指定管理者に関係資料の提出を求めているところであり、資料提出後に庁内で審査し、指定管理者と協議のうえ、決定する方針である。

2. 令和7年度道の駅みさき利用状況について

(1) 年間来駅者数について

道の駅みさきの来駅者について、道の駅来駅者数及び直売所利用者数は増加したものの、飲食施設の利用者は減少した。また、全体の来駅者数は1,185,147人（前年度比0.4%増）となり、前年度とほぼ同水準で推移している。

R7年度	年間来駅者数（人）	前年比	1日あたり（人）	前年比
道の駅	1,185,147	4,473人 (0.4%)	3,247	12人 (0.4%)
うち直売所	348,816	2,887人 (0.8%)	956	8人 (0.8%)
うち飲食	46,233	△1,396人 (△2.9%)	127	△3人 (△2.3%)

R6年度	年間来駅者数（人）	前年比	1日あたり（人）	前年比
道の駅	1,180,674	55,647人 (4.9%)	3,235	153人 (5.0%)
うち直売所	345,929	20,778人 (6.4%)	948	57人 (6.4%)
うち飲食	47,629	△2,229人 (△4.5%)	130	△7人 (△5.1%)

R5年度	年間来駅者数（人）	前年比	1日あたり（人）	前年比
道の駅	1,125,027	3,321人 (0.3%)	3,082	9人 (0.3%)
うち直売所	325,151	△6,067人 (△1.8%)	891	△16人 (△1.8%)
うち飲食	49,858	7,174人 (16.8%)	137	20人 (17.1%)

R 4 年度	年間来駅者数（人）	前年比	1 日あたり（人）	前年比
道の駅	1, 121, 706	36, 045 人 (3. 3%)	3, 073	99 人 (3. 3%)
うち直売所	331, 218	9, 790 人 (3. 0%)	907	26 人 (3. 0%)
うち飲食	42, 684	2, 225 人 (5. 5%)	117	6 人 (5. 4%)

R 3 年度	年間来駅者数（人）	前年比	1 日あたり（人）	前年比
道の駅	1, 085, 661	38, 610 人 (3. 7%)	2, 974	105 人 (3. 7%)
うち直売所	321, 428	10, 954 人 (3. 5%)	881	30 人 (3. 5%)
うち飲食	40, 459	1, 916 人 (5. 0%)	111	5 人 (4. 7%)

R 2 年度	年間来駅者数（人）	前年比	1 日あたり（人）	前年比
道の駅	1, 047, 051	30, 192 人 (3. 0%)	2, 869	83 人 (3. 0%)
うち直売所	310, 474	20, 023 人 (6. 9%)	851	55 人 (6. 9%)
うち飲食	38, 543	△9, 959 人 (△20. 5%)	106	△27 人 (△20. 3%)

(2) 年間売上高について

道の駅みさきの年間売上高は高水準で推移しているが、令和7年度は937,819千円となり、前年をわずかに下回った。これは物価高騰に伴う利用者の買い控えのほか、直売所において売場環境の改善を目的に陳列棚の一部を削減したことに伴い、直売所売上高が減少（前年度比0.2%減）したことによるものである。

	年度	年間売上高		来客数	1人あたり売上高	
		年間売上高 (千円)	前年比	来客数 (千人)	1人あたり 売上高(円)	前年比
直売所	R7	857,929	△1,427千円 (△0.2%)	349	2,458	△26円 (△1.0%)
	R6	859,356	37,769千円 (4.6%)	346	2,484	△44円 (△1.7%)
	R5	821,587	42,287千円 (5.4%)	325	2,528	174円 (7.4%)
	R4	779,300	45,004千円 (6.1%)	331	2,354	66円 (2.9%)
	R3	734,296	44,200千円 (6.4%)	321	2,288	62円 (2.8%)
	R2	690,096	122,435千円 (21.6%)	310	2,226	269円 (13.7%)
飲食	R7	79,890	632千円 (0.8%)	46	1,737	86円 (5.2%)
	R6	79,258	3,155千円 (4.1%)	48	1,651	129円 (8.5%)
	R5	76,103	10,452千円 (15.9%)	50	1,522	△5円 (△0.3%)
	R4	65,651	8,223千円 (14.3%)	43	1,527	91円 (6.3%)
	R3	57,428	4,813千円 (9.1%)	40	1,436	87円 (6.4%)
	R2	52,615	△12,875千円 (△19.7%)	39	1,349	12円 (0.9%)

	年度	年間売上高		来客数	1人あたり売上高	
		年間 売上高 (千円)	前年比	来客数 (千人)	1人あたり 売上高 (円)	前年比
合計	R7	937,819	△795 千円 (△0.1%)	395	2,374	△8 円 (△0.3%)
	R6	938,614	40,924 千円 (4.6%)	394	2,382	△12 円 (△0.5%)
	R5	897,690	52,739 千円 (6.2%)	375	2,394	135 円 (6.0%)
	R4	844,951	53,227 千円 (6.7%)	374	2,259	66 円 (3.0%)
	R3	791,724	49,013 千円 (6.6%)	361	2,193	65 円 (3.1%)
	R2	742,711	109,560 千円 (17.3%)	349	2,128	260 円 (13.9%)

(3) 道の駅みさきの納付金について

道の駅みさきから本町への納付金については、地場特産品販売施設、飲食施設（丘の上食堂）及び自動販売機の売上総額から、仕入れ費、人件費、光熱費、交通誘導員費用等の支出を差し引いた金額（会計実務上の営業利益）に８％を乗じて算出している。

近年の納付金額は５００万円前後で推移しており、令和７年度については５，０５７，５１９円（前年度比０．２％減）と前年度をわずかに下回ったものの、５００万円を維持できた。

	納付金の額（円）	前年比
R7	5,057,519	△8,349 円 (△0.2%)
R6	5,065,868	△76,985 円 (△1.5%)
R5	5,142,853	336,087 円 (7.0%)
R4	4,806,766	△94,238 円 (△1.9%)
R3	4,901,004	181,055 円 (3.8%)
R2	4,719,949	839,030 円 (21.6%)

(4) 地元出荷者数について

道の駅みさきへの地元出荷者数は、令和7年度は174人（前年度比10人増）となり、指定管理者による新規出荷者の掘り起こしや受入体制の整備により、地元事業者の出荷が徐々に増加している。

また、地元事業者の主な取扱品目は、タイやイカなどの魚介類、玉ねぎやしいたけ、水ナスなどの農産物のほか、いかなごのくぎ煮やベーグル、寿司、魚のすり身の天ぷらなどの加工品などとなっている。

	出荷者数（人）	前年比
R7	174	10人（6.1%）
R6	164	2人（1.2%）
R5	162	2人（1.3%）
R4	160	9人（6.0%）
R3	151	10人（7.1%）
R2	141	11人（8.5%）

(5) 令和7年度 道の駅みさきで実施した集客イベントについて

年月日	イベント名	内容	人数	備考
R7. 4. 6	春の交通安全運動	警察車両展示を伴う交通安全週間啓発活動	100 人	店頭催事コーナー前
R7. 4. 10～4. 13	道の駅みさき開駅8周年祭	各種キッチンカー、店頭対面販売、餅つき大会、地元海産物の対面販売イベント集中開催	4 日間来駅者 15,000 人	店内・店頭
R7. 4 より毎月1回	泉南警察主催防犯啓発	警察官、地域防犯ボランティアによるチラシ、景品配布での啓発活動	150 人	店頭催事コーナー
R7. 10. 10	岬高校「山・海・人」プロジェクト協力	「つつじの花が咲き誇る道の駅」つつじ植樹3か年計画初年度実施	開催日 30 人	駐車場植込み入替 80 本

※上記に加え、週末ごとのキッチンカー出店や店頭での対面販売を定期的の実施し、賑わいの創出に努めている。

※来駅者の満足度向上及び環境美化のため、敷地内空きスペースを活用して、指定管理者が花苗の植栽を実施した。

※岬高校「山・海・人プロジェクト」との連携事業として、「つつじの花が咲き誇る道の駅」の実現に向け、3カ年計画によるつつじの緑化整備を継続して推進する。

(6) 評価と今後の取り組みについて

道の駅みさきは、平成29年4月の開駅から9年が経過したが、令和7年度においても、118万人の来駅者があった。これは、道の駅みさきが地域活性化拠点として特産品である鮮魚など地場産品を購入できる施設として多くの方に認知されている結果と考えられる。一方で、来駅者数は前年より微増となり、着実に増加しているが、近年横ばい傾向にあるため、今後の推移を注視していく必要がある。

また、年間売上高については売場環境改善（陳列棚の削減）に伴い微減となったが、指定管理者からは、近年の物価高騰や人件費の高騰など厳しい事業環境が続く中、収益力の向上に向けてより魅力的な商品の充実を図るため、登録生産者の掘り起こしに努めるとともに、人員配置の最適化などコスト削減に取り組んでいると事業報告を受けている。

引き続き、指定管理者と協議を行い、安心・安価な農水産物を取りそろえ、来駅者に喜ばれるサービスの提供と出荷者の生産意欲の向上、地元雇用の創出に努めていただく。

地場産品販売施設（よってって）の売り場が狭いといった利用者の声が多い中、指定管理者には来駅者が安心して買い物できるよう限られた面積を創意工夫して少しでも広く使えるように努めていただいている。また、国との間で増築に関する協議を進め、令和8年度に設計業務を行えるよう予算措置した。設計後は速やかに増築工事に着手するなど、来駅者の要望に応えられるよう利便性の向上に努めてまいりたい。

また、道の駅みさきでは、これまで休日になると駐車場への入場待ちの車が滞留するなど駐車台数の不足が指摘されてきたが、町長の根強い要望により国において令和4年度に駐車場拡張工事が行われ、利用者の利便性の向上が図られた。

さらに、利用者の憩いの場とするため進めてきた道の駅みさきに隣接する稲荷池周辺の環境整備についても、令和7年度に路面標示などの安全対策に関する国との協議が完了し、それらの対策工事を含めた整備が完了したことで、現在は利用者に開放されている。

今後も、指定管理者と緊密に連携を図り、町内外への積極的な広報・周知活動を展開し、さらなる集客向上による賑わいの創出と交流人口拡大に努めていく。

3. 令和8年度 第二阪和国道複線化連絡協議会の開催について

開催日時 令和8年8月24日（月） 午後1時30分～午後2時30分

開催場所 岬町役場 3階 第二委員会室

議 事 第1号議案 令和7年度 第二阪和国道複線化連絡協議会 事業報告について

第2号議案 令和7年度 第二阪和国道複線化連絡協議会 歳入歳出決算について
(会計監査報告)

第3号議案 令和8年度 第二阪和国道複線化連絡協議会 事業計画（案）について

第4号議案 令和8年度 第二阪和国道複線化連絡協議会 歳入歳出予算（案）について

第5号議案 令和8年度 要望書（案）について

その他 会議の傍聴の許可について

意見交換



第二阪和国道複線化連絡協議会 議事進行



第二阪和国道複線化連絡協議会 意見交換

4. 開発協議等の進捗状況について（報告）

令和8年8月6日現在

整理 番号	種 別	事 業 主	用途地域等	敷地面積 (㎡)	開 発 の 概 要	進捗状況・備考
1	盛要	関西電力株式会社	工業地域、 第一種住居地域	16,993	道路 新設	事前協議中 [事前協議受付：R7.11.19]

凡例 種別 都＝都市計画法 盛＝宅地造成及び特定盛土等規制法 要＝岬町宅地開発等指導要綱
状況 ☆新規報告案件

